

新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止に関する情報などについて

村内イベント情報

※12月21日現在

【中止】

日時	イベント名	備考
1月	佐井村ナイター卓球大会	

新型コロナワクチン追加接種について

新型コロナワクチンを2回接種した場合であっても、接種後の時間経過とともにワクチンの有効性が低下することが諸外国で報告されていることから、ワクチンの追加接種（3回目接種）の実施について国の方針が示されました。2回目の接種を完了した18歳以上の方が対象になります。村としても、国の方針に基づいて、追加接種を順次進めており、今後、詳細が決まり次第、随時お知らせします。

また、国では初回接種（1・2回目接種）で使用したワクチンの種類に関わらず、追加接種で使用するワクチンは、mRNAワクチンであるファイザー社またはモデルナ社のワクチンが適当であるとしています。

追加接種はいつからできるの……？

2回目接種日から8か月以上経過した日を接種日とし、対象となる方に順次追加接種に関する封筒を発送します。国からの配分が月によりファイザー社かモデルナ社、あるいは両方となります。そのため、ワクチンを選択することはできませんので、ご了承ください。ただし、国の「厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討会」において、モデルナ社ワクチンの接種後に生じる心筋炎等の発生頻度が10・20代の男性に高いことから、この年代の方にはファイザー社ワクチンを使用します。

追加接種から使用される「モデルナ社」のワクチンとは……？

アメリカの製薬会社、モデルナ社のワクチンは、2020年12月以降、アメリカなどで接種が始まりました。日本国内では製薬大手の武田薬品工業が行った臨床試験の結果に基づいて承認申請を行い、厚生労働省は2021年5月21日に承認しました。

このワクチンは、ファイザー社のワクチンと同じタイプで、遺伝物質のメッセンジャーRNAを使っていて、頭文字をとって「mRNAワクチン」と呼ばれています。

有効性は……？

臨床試験の結果をまとめた論文では、発症を防ぐ効果は94.1%だったということです。

副反応は……？

モデルナのワクチンでは、2回目の接種後に副反応が出る割合が多いようです。

また、ほとんどが軽症から中等度で、日常生活に影響が出るほどの副反応は少数だったということです。

《モデルナ》

《ファイザー》

1回目	2回目		1回目	2回目
86.5%	88.2%	疼痛（うずくような痛み）	92.6%	89.5%
26.8%	83.9%	けん怠感	23.2%	68.9%
17.4%	67.6%	頭痛	21.4%	53.1%
5.3%	13.7%	かゆみ	8.0%	11.9%
2.1%	61.9%	発熱（38度以上）	0.9%	21.3%

厚生労働省の報告によると、ファイザー社と武田／モデルナ社のワクチン接種後に、ごくまれに心筋炎・心膜炎を発症し、特に10・20代の男性の2回目の接種後4日程度の間が多い傾向がありました。また、武田／モデルナ社のワクチンの方が、心筋炎・心膜炎が疑われた報告の頻度が高い傾向がみられました。

ワクチン接種後4日程度の間胸の痛み、動悸、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。こうした症状は、心筋炎・心膜炎の典型的な症状ですが、ほかの原因でも起こることがあります。